

和田周馬さん 飛澤来心さん 深谷舞さん 宗形雲母さん

世界に通用する農業生産の改善点や審査のポイントを農家の皆さんへ伝えることも、この取り組みを継続する私たち、新しい世代のできることだと思います!

## 商品開発

あべげんしょう  
安部源翔さん  
わたなべるか  
渡辺琉楓さん

初めての試飲販売はドキドキ!緊張しましたが、いま学科で取り組んでいる商品開発や販売にとても役立ちました。

GAP米を提供した後、コロナ禍で深く関わられませんでしたが、先輩たちの努力が形になって嬉しかった!

東京都で結婚式場を運営する「八芳園」、郡山市「宝来屋」とタッグを組み、グローバルGAP認証を取得した米を使った無添加糀あまざけを開発。百貨店での試飲・販売を行ったところ「粒が残っていて、やさしい味わい」「無添加で安心できる」と大好評!3日間で用意した60本以上が完売。

### [無添加 糀あまざけ]

520ml 1200円(税別)

商品取扱店

- ・すかがわ観光物産展flatto
- ・鏡石まちの駅かんかんてらす

## おもてなし

いがらしみつき  
五十嵐光稀さん

料理好きでしたが、今回、専門学校の先生とメニュー開発し、新しい調味など勉強できました。将来は、福島の食の安全を研究して広める仕事に就きたいです。

### 内閣官房主催「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」 推進本部事務局長賞受賞

東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、世界各国の選手へ日本の食やおもてなしを発信するためのコンテストで、ハンガリー水泳選手団のホストタウンである郡山市と連携。淡水魚を好むハンガリーの食文化と、郡山の鯉文化を融合し、アスリートの消費カロリーを考え開発したメニュー。

▲郡山特産の鯉を使ったソーセージ、地元産の野菜、GAP米を使用して作ったハンガリーロール

すずきたかひで  
鈴木貴英先生

GAP日本一の成果は、先生方や地域の方、校外の多くの方の協力のおかげです。認証取得に挑戦した生徒たちは、非常に厳しい管理項目に向き合い、大きく成長しています。本校は今後もGAPへの取り組みを活かし、福島の風評被害の払しょくとともに、生徒一人一人が挑戦で得た学びを継続することで、「GAPの伝道師」となって地域に貢献していくことを期待しています。

▲岩瀬農業高校のグローバルGAP米  
「福数多(ふくあまた)」

巻頭特集

# グローバルGAP認証取得品目数で高校日本一 農業を通じて食の未来に貢献! ～岩瀬農業高等学校～

IWASE  
AGRI High School  
G.A.P.

2020年12月、農産物18品目で生産管理の国際認証制度グローバルGAPの認証を受け、高校単独日本一に輝いた岩瀬農業高校。その取り組みとは?!

## ふくしまの農作物は デンジャラスフード?!

岩瀬農業高校がグローバルGAPの認証取得への挑戦を始めたのは、2018年。現3年生が1年生の時です。きっかけは、2年前のオランダ研修でのひとこまでした。当時、研修に参加した生徒は、「オランダの高校生に、福島の農作物はデンジャラス・フードだと思うかと質問をしたら、8~9割の人が手を挙げた。びっくりしました」と振り返ります。

震災から8年、「福島の農作物の安心に対する理解は広がっている」と考えていた生徒たち。福島の農業高校の生徒として「風評被害を払しょくする力になりたい」という思いを新たにした出来事でした。「このオランダでの生徒たちの体験と東京オリンピック・

パラリンピック開催が、国際的な認証取得に挑戦する原動力になりました」とプロジェクト担当の鈴木先生は言います。

## GAPへの 挑戦がくれたもの

認証取得を目指した品目は全て、各学科の実習で扱う農畜産物。初年度はコメやキウイ、リンゴ、バジルなど6品目、2年目はジャガイモ、ダイコンなど5品目と挑戦を重ね、今

高校として日本一となりました。また、畜産も乳用牛・生乳、肉用牛・採卵鶏・鶏卵の3品目において国内認証のJGAPを取得しています。しかし、生徒たちにとっては、「取得までのプロセス」が、品目の数に勝る宝物になつているのです。

## 岩農から地域へ、 そして世界へ ふくしまの 食の魅力を発信

認証の取得には、品目ごとに200項目以上の厳しい基準をクリアする必要があります。その一つ一つに取り組むことで、生徒の実習に向き合つ姿勢や意欲は大きく変化しました。「マスクや手袋、帽子など実習服を正しく身に付けているか、消毒は徹底しているか、記録のものはないかななど、生徒同士が確認しあい改善できることになりました」と生徒たち。

「なぜ、正しい服装をしなければならないのか、なぜ、記録をつけなければなりません」と生徒たち。

3年前、海外との認識の違いに悔しさを覚えた生徒たちはいま、将来の進路に向き合ったことで、以前は考えてもいなかつた道を歩もうとしている生徒も大勢います。作る農業から経営する農業へ、料理人から研究者へ、食や農を伝える保育士、次世代を育てる農業高校の教師、地元に貢献する観光農業や、審査会の参加を通して、認証機関の審査員に興味をもつたという人も。先輩から後輩へ、そして岩農から世界へ。福島の農産物の安全安心を発信する生徒たちの取り組みは、これからも

福島県岩瀬農業高等学校  
GLOBAL GAP認証取得品目日本一  
JGAP畜産3部門同時認証取得国内初